

DAISAN®

Report

第39期中間のご報告書



CONTENTS

- 02 トップインタビュー
- 04 トピックス
- 06 四半期財務諸表
- 07 会社情報／株式情報

株式会社ダイサン

証券コード:4750

株主メモ

事業年度 毎年4月21日から翌年4月20日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会・期末配当…毎年4月20日
中間配当……………毎年10月20日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



代表取締役社長
三浦 基和

「ヒト」の パフォーマンスを重視し、 顧客満足の安全・安心・感動の 現場作りを目指します

Q 第2四半期累計期間決算についての 総括をお願いします

A 当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州を中心とした世界経済の停滞、日中関係の悪化など、外需に対する懸念が強く、国内企業の生産、設備投資や個人消費などの内需の動きも力強さに欠ける状況にあります。

当社に関連の深い住宅・建築市場におきましては、住宅ローン金利の低下などを背景に、緩やかな持ち直しの動きが継続しておりますが、消費マインドの改善が見込まれない中、先行きの不透明感が高まっております。

こうした状況の中、当社では、厚生労働省認定の社内検定「ビケ足場施工」による品質向上を図り、住宅足場の手すり先行工法「ビケ足場BX工法®」のさらなる普及

に努めることにより、安全・安心・感動の施工サービスの提供に取り組んでまいりました。

これにより、施工サービス事業においては、付加価値提案による施工単価改善への取組みが奏功し、利益増加につながりました。一方、製商品販売事業においては、前事業年度の復旧需要の反動により、販売が減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,622百万円（前年同期比13.4%減）となり、製商品販売事業の販売減少が影響し、営業利益300百万円（同9.7%減）、経常利益310百万円（同9.1%減）、四半期純利益は187百万円（同29.1%減）となりました。

Q 今後の市場環境についてお聞かせ下さい

A 住宅・建築市場全般といたしましては、2014年4月に予定されている消費税増税の影響で、2013年9月までに駆け込み需要のピークが来ると予想されます。一方、今回は時期を分けての2段階増税であり、過去のような増税後の急激な需要低下は避けられると考えております。

また、震災での危機意識の高まりをうけての耐震補強や、エネルギー問題に対する意識の高まり、電力料金の上昇をうけての太陽光発電システム設置など、リフォーム需要はますます拡大すると考えております。リフォーム市

場では、お施主様が居住されている中での足場施工となることが、新築物件との大きな違いといえます。よって、安全は勿論のこと、私どもが施工サービス業として重視する、見ていて安心できる施工パフォーマンスを強く訴求できると考えております。

Q では、そのような環境の中での事業における 今後のポイントをお聞かせ下さい

A 当社の安全・安心の商品づくりに共感していただける大手ハウスメーカーと、リフォーム市場への営業活動に引き続き注力してまいります。

前述のとおり、足場業界も市場はますますサービス品質重視へと変わっていくでしょう。私どもは、足場業界における多くのデファクトスタンダードの構築、即ち「新しい足場文化」を創造し続けておりますが、今後は「モノ」から「ヒト」へと考え方を換え、「施工サービス業」への転換も推し進めてまいります。2011年2月に厚生労働省に認定された社内検定「ビケ足場施工」はその核となるものです。

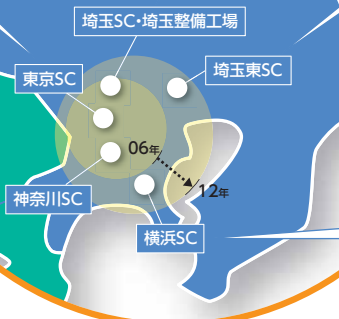
先般、社内検定「ビケ足場施工」の全棟有資格者施工体制を整えましたが、技術力やマナーの向上は、業界における当社の競争優位性を築くだけでなく、施工スタッフ一人ひとりの目標となり、やりがいを持って活躍できる活気ある職場づくりにも繋がると考えています。今後も有資格者を育成し、施工スタッフの更なる技術力向上に努め、顧客満足の安全・安心・感動の現場作りを目指します。

トピックス

施工サービス事業 首都圏拠点展開



全25SC (2012年10月20日現在)



当社は設立以来、施工サービス事業は西日本を中心に拠点展開を行ってきましたが、事業を成長発展させていく上で、首都圏の市場規模と成長性に着目し、2006年から首都圏へのサービスセンター出店を開始いたしました。

2012年10月20日現在、首都圏エリアは5つのサービスセンターを展開しています。

首都圏の住宅市場は、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 の4つの都道府県で新設住宅着工戸数全体の3分の1を超える市場規模を有しています。

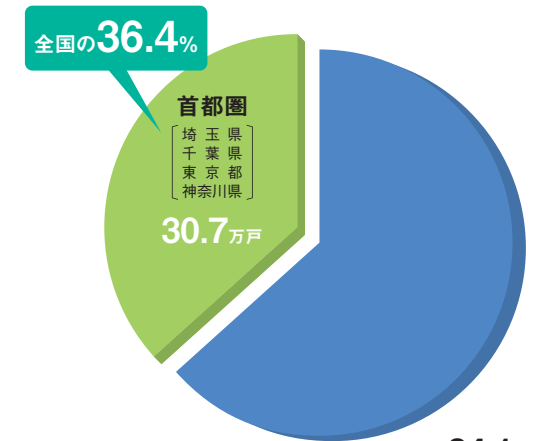
また、既存住宅のストックも多く、リフォーム需要の増加も見込まれます。

首都圏の初出店から6年が経過しましたが、施工エリアの拡大や顧客との関係強化が実り、安定的な収益を獲得できるようになりました。

今後も、首都圏市場での当社の存在感を高める様、事業展開をしてまいります。

●首都圏住宅市場規模

新設住宅着工戸数(2011年度)



出典:国土交通省「住宅着工統計」

全国計 84.1 万戸

●京都サービスセンター移転のお知らせ

2012年8月、京都サービスセンターを移転し、移転先での営業を開始いたしました。

同じ亀岡市内での移転となりますが、インターチェンジからのアクセス向上による移動時間の短縮と、ヤード面積の拡大によって、より効率の良い稼働が可能になります。

京都府亀岡市大井町土田3-565
最寄IC: 京都縦貫自動車道 大井IC (車で約3分)



